

第4期さいたま市外国人市民懇話会 「外国人も住み良いまちづくりに向けた意見」

私たち、第4期さいたま市外国人市民懇話会は、「さいたま市のまちづくり」について話し合い、さいたま市と市民、関係機関や団体などが連携を図り、外国人も住みやすいまちづくりが進められるよう、次のように提言します。

1. さいたま市からの情報の整理、発信・提供について

(1) 市ホームページについて、外国人向けの情報の整理と、内容の充実を図りながら、更なる周知を図ってください。

(2) 市ホームページの他に、SNSなどの電子媒体を活用するなど、外国人が情報を手に入れやすいように、情報発信・提供の手段を検討してください。

2. さいたま市の良さや、市の事業などのPRについて

(1) さいたま市には、魅力がある便利な施設や場所があるので、外国人が利用しやすくなるよう、いろいろな形式で情報提供してください。

(2) 市が行っている外国人も利用できる事業について、外国人同士が集まって情報交換ができる場所と、機会を充実させてください。

3. 日本の文化(ルール、マナー、習慣)の理解・PRについて

(1) 互いの文化を相互に理解し、日本での生活に必要なルールやマナーの対応について、必要に応じて外国人が学ぶ機会を考えてください。

(2) 市や地域が連携して、同じ地域の外国人や日本人を通して、地域情報を伝える仕組みを作ってください。

だい き し がいこくじんしみんこんわかい
第4期さいたま市外国人市民懇話会
がいこくじん す よ む いけん べってんしりよう
「外国人も住み良いまちづくりに向けた意見」別添資料
おも いけん
主な意見（まとめ）

1. さいたま市からの情報の整理、発信・提供について

きょうつう (共通)

- ・市報などを活用して、国際交流のイベント情報などを、もっと広報してほしい。
- ・情報を集められない外国人のために、市役所の方から、情報発信してほしい。
- ・さいたま市の良い部分を、日本人側から、もっと積極的に情報発信してほしい。

(1)

- ・外国人が手に入れやすいように情報の整理と、適切な情報提供が重要だと思う。
- ・情報を多言語に翻訳する場合、重要な情報をピックアップして翻訳すれば良い。
- ・市ホームページの、外国人向けの内容を充実させてほしい。また、もっと外国人市民に知ってほしい。

(2)

- ・日本語でも良いので、外国人の役に立つと思われる情報を提供してほしい。
- ・外国人市民への発信手段として、SNS等の電子媒体を活用してはどうか。
- ・FacebookなどのSNSは、外国人市民にとって、情報が手に入りやすいので良い。

第4期さいたま市外国人市民懇話会
「外国人も住み良いまちづくりに向けた意見」別添資料
主な意見（まとめ）

2. さいたま市の良さや、市の事業などのPRについて

(共通)

- ・さいたま市の良さを、もっと積極的にPRして、外国人に知ってほしい。
- ・さいたま市の良さや事業を、うまくPRすれば、「さいたま市に住みたい」と思う外国人は増えると思う。

(1)

- ・コミュニティーや盆栽美術館など、さいたま市の施設は、良い施設だと思う。
- ・「さいたまスーパーアリーナ」等の、市内にある施設や、市内で行われるイベントをもっとPRして、活用していくと良いと思う。
- ・市内の施設を、国際交流センターなどの関係機関と連携しながらPRしてほしい。

(2)

- ・幼児教育など、子育て支援に力を入れていることをPRすると良いと思う。
- ・小学校で行われている国際交流の取り組み等は、良い。子供に対する国際交流の機会が、さらに増えれば良い。
- ・外国人同士が、気軽に集まって話し合える場での情報交換は、情報が広まりやすいので、あったら良いと思う。
- ・外国人も参加できる地域のイベントを、教えてほしい。
- ・外国人同士が、日本の生活習慣の違いについて話し合う場があれば、勉強になる。
- ・外国人についての先入観は、テレビなどのマスコミの影響が大きい。実際に話し合えば、誤解も解け、分かり合えると思う。

第4期さいたま市外国人市民懇話会
「外国人も住み良いまちづくりに向けた意見」別添資料
主な意見（まとめ）

3. 日本の文化(ルール、マナー、習慣)の理解・PRについて

(共通)

- 外国人が母国の習慣で、気がつかないうちに、マナー違反や誤解を与える場合があることを、日本人に理解してほしい。

(1)

- 日本に住むために必要なルールをPRしてほしい。
- 文化の多様性を尊重して、押し付けの無い形で、学べる場があると良い。
- コミュニティセンターや公民館等で、日本の文化を学べる講座があると良い。
- マナーや習慣に対する意識は、外国人の生活環境や本人の考え方によって個人差があるので、レベルに合わせて学べる場があれば良い。
- 日本語教室や国際交流センターなどで、日本人ボランティアや在住外国人から、日本の文化や生活などについて話してくれたら、理解しやすい。

(2)

- 地域のルール(例：ゴミ出し、子供の集団登校、お祭り)を教えてほしい。
- 長く日本に住んでいる外国人や、近所に住む日本人たちとの交流を通して、学ぶ機会があればよい。
- 外国人市民にルールをPRするには、市役所と地域の連携が必要だと思う。